

中小企業景況状況

射水商工会議所管内（新湊地区）における中小企業の景気動向を定期的に把握し、情報の提供並びに射水商工会議所が行う経営支援の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測を実施する。第2回目として、平成28年7～9月期実績および平成28年10～12月期見通しを対象期間として調査した。

《回答企業内訳及び回答率》

業種	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	10	10	100%
建設業	10	10	100%
小売業	10	10	100%
サービス業	10	10	100%
卸売業	10	10	100%
合計	50	50	100%

※本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期比および前期（四半期前）と比較して増加（上昇・好転）企業割合と減少（低化・悪化）企業割合の差を示すものである。

《主要景況項目》

○産業全体 → [全産業](#)

- 業況判断 D.I は、前期比 11.5 ポイント好転し△12.5 ポイントとなった。来期は 4.0 ポイント好転の△8.5 ポイントを予想している
- 売上額 D.I は、前期比 19.9 ポイント悪化し△22.0 ポイントとなった。来期は 13.5 ポイント好転の△8.5 ポイントを予想している。
- 採算 D.I は、前期比 6.1 ポイント好転し 4.1 ポイントとなった。
- 資金繰り D.I は、前期比 7.9 悪化し△12.2 ポイントとなった。

○産業別

- サービス業は前期と比較して売上額は減少し、業況も 10 ポイント悪化、業況は今後も悪化の見通しである。 → [サービス業](#)
- 建設業は、採算（経常利益）・業況共に 20 ポイント改善し、業況は今後も好転する見通しである。 → [建設業](#)
- 卸売業は、前期と比較して売上単価は低下し、売上額も減少しているが、来期の業況は好転する見通しである。 → [卸売業](#)
- 製造業は、売上単価が上昇し、売上額も増加しており、業況は 22.2 ポイント改善したが、今後の業況は悪化の見通しである。 → [製造業](#)
- 小売業は、業況・採算（経常利益）共に 20 ポイント改善しているが、今後の業況は悪化の見通しである。 → [小売業](#)